

# IMF サーベイ

世界経済見通し

世界経済の成長パターンはシフトしている、  
と **IMF WEO** が強調

**Rupa Duttagupta、Thomas Helbling**  
IMF 調査局

2013 年 10 月 8 日



配送準備が整った米国産のトラック、ミシガン州デトロイト。2014 年の回復の原動力の大半は先進国・地域となろう（写真：Jeff Haynes/AFP/Getty）

- IMF は 2013 年の世界経済成長率を 2.9%と予測、2014 年は 3.6%に上昇する見込み
- 経済成長は先進国・地域が牽引し、新興市場国・地域では予測を下回ることに
- 見通しの下振れリスクは依然と残ると予想

国際通貨基金（IMF）は最新の世界経済見通し（WEO）で、世界の経済成長は依然として緩慢であり、成長の原動力はシフトしていると発表している。IMF の予測では、世界経済成長率は、2013 年は平均 2.9%と 2012 年の 3.2%を下回るが、2014 年は 3.6%に上昇する見込みだ。

2014 年の回復の原動力の大半が先進国・地域となる見込みである。主要新興市場国・地域の成長は依然として力強いものの、IMF が 2013 年 7 月に発表した WEO の改訂見通しよりも減速すると予測している。これは、ひとつにはグレートリセッション（大規模景気後退局面）後の刺激策による経済活動の急拡大の後の、自然な冷え込みによる。インフラ、労働市場、投資の構造的なボトルネックも、多くの新興市場国・地域での成長の鈍化の一因となった。

こうした成長の移行は、米国の金融政策が転換期に近づいたことと相まって、新たな課題とリスクをもたらした。特に、米国をはじめとする多くの国や地域で長期金利の想定外の大幅な上昇を引き起こした。米国の連邦準備制度理事会が最近資産購入ペースの据え置きを決定し、新興市場国・地域からの資金流出がいくらか後退したにもかかわらず、債券利回りは 5 月初めの水準を優に上回ったままである。更に、金融状況が現在は下支えしているがこれがタイト化に転じる明らかなリスクが存在する。

- 米国については、現在の連邦政府の閉鎖期間は短く、債務上限は期限までに引き上げられるという重要な前提に基づいて予測を行っている。経済成長率は、今年の1.5%から、2014年は住宅市場の回復と家計の資産の上昇に支えられて民需が引き続き堅調なことから、2.5%の伸びを予測している。
- ユーロ圏では、一連の政策により主要リスクが軽減して金融状況が安定したが、周縁国の成長は依然として与信のボトルネックにより抑制されている。ユーロ圏は、景気後退局面から這い出すと考えられ、2014年の成長率は1%に達するだろう。
- 日本では、政府当局の新たな政策パッケージであるアベノミクスの下での財政刺激策と金融緩和により経済活動の回復が顕著である。ただし、財政刺激策と復興支出の解除が見込まれているがこれに加え消費税率が引き上げられることで、成長率は今年の2%から2014年には1.25%と鈍化するだろう。
- 中国では、成長率は今年の7.5%から2014年には7.25%と若干鈍る見通しである。政策担当者は金融安定に関する懸念と、よりバランスのとれた持続可能な成長軌道を支える必要性から、刺激策を避けてきた。
- 総じて、新興市場及び途上国・地域の成長率は、底堅い内需、輸出の回復、財政、金融、金融部門の状況に支えられ、2013~2014年は4.5~5%と引き続き好調だろう。サブサハラアフリカをはじめとする多くの低所得国では、国際商品価格が引き続き経済成長率を押し上げるだろう。ただし、中東と北アフリカ、アフガニスタン、パキスタンでは、引き続き経済的・政治的な移行という困難な問題に直面することになるだろう。

## IMF 最新見通し

世界の成長のダイナミクスは変化している。2013年の成長率は2.9%へ低下し、その後2014年には主に先進国・地域が牽引し3.6%まで上昇する見通し。

(変化率、パーセント)

	2011	2012	見通し		2013年7月のWEO予測との差	
			2013	2014	2013	2014
<b>世界経済成長率</b>	3.9	3.2	2.9	3.6	-0.3	-0.2
<b>先進国・地域</b>	1.7	1.5	1.2	2.0	0.0	0.0
米国	1.8	2.8	1.6	2.6	-0.1	-0.2
ユーロ圏	1.5	-0.6	-0.4	1.0	0.1	0.0
ドイツ	3.4	0.9	0.5	1.4	0.2	0.1
フランス	2.0	0.0	0.2	1.0	0.3	0.1
イタリア	0.4	-2.4	-1.8	0.7	0.0	0.0
スペイン	0.1	-1.6	-1.3	0.2	0.3	0.1
日本	-0.6	2.0	2.0	1.2	-0.1	0.1
英国	1.1	0.2	1.4	1.9	0.5	0.4
カナダ	2.5	1.7	1.6	2.2	-0.1	-0.1
その他先進国・地域	3.2	1.9	2.3	3.1	0.0	-0.2
<b>新興市場及び途上国・地域</b>	6.2	4.9	4.5	5.1	-0.5	-0.4
中・東欧	5.4	1.4	2.3	2.7	0.2	-0.1
独立国家共同体	4.8	3.4	2.1	3.4	-0.7	-0.3
ロシア	4.3	3.4	1.5	3.0	-1.0	-0.3
除ロシア	6.1	3.3	3.6	4.2	0.1	-0.1
アジア途上国	7.8	6.4	6.3	6.5	-0.6	-0.5
中国	9.3	7.7	7.6	7.3	-0.2	-0.4
インド	6.3	3.2	3.8	5.1	-1.8	-1.1
ASEAN5カ国 <sup>1</sup>	4.5	6.2	5.0	5.4	-0.6	-0.3
ラテンアメリカ及びカリブ諸国	4.6	2.9	2.7	3.1	-0.3	-0.3
ブラジル	2.7	0.9	2.5	2.5	0.0	-0.7
メキシコ	4.0	3.6	1.2	3.0	-1.7	-0.2
中東、北アフリカ、アフガニスタン、及びパキスタン	3.9	4.6	2.3	3.6	-0.7	-0.1
サブサハラアフリカ	5.5	4.9	5.0	6.0	-0.2	0.1
南アフリカ	3.5	2.5	2.0	2.9	0.0	0.0

出所：IMF世界経済見通し(2013年10月)  
<sup>1</sup>インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム

### 依然として下方リスクが支配的

WEOは、一連の世界経済成長の構造の変化が新興市場国・地域のリスクを悪化させたと強調している。米国の金融政策の縮小と新興市場国・地域の国内の脆弱性が結びついて、世界的に市場の調整が更に進行し、資産価格のオーバーシュート、なかには国際収支に大きな混乱が生じるリスクがある。

更に、古いリスクも残っている。例えば、ユーロ圏の不完全な金融セクターの改革に加え、一部のユーロ圏諸国では金融政策が伝播せず企業が過剰債務を抱えている。また、日本や米国をはじめとする多数の先進国・地域における、増大した政府債務とそれに関連する財政上、金融上のリスクがある。最近数カ月で地政学的リスクも再浮上してきた。

これらのリスクの一部が現実のものになれば、国境をまたいだ取引と金融上の波及効果によりあらゆる国に影響するだろう。したがって、WEOは長期間にわたり世界経済が低調であることによるリスクを強調している。

### より力強く持続可能な成長のための政策

世界経済を長期間にわたり低迷している経済パフォーマンスから引き上げるには、何よりもまず、先進国・地域が既存の課題に対処し、新興市場国・地域と途上国が信頼に足る政策をとりながら成長の移行を適切に進めていく必要がある。

先進国・地域について、WEOはこれまでのレポートで取り上げてきたさまざまなメッセージを改めて強調している。ユーロ圏は、金融制度を修復し、共通のバックストップに支えられた信頼に足る銀行同盟を採択する必要がある。米国は、財政政策をめぐる政治的な行き詰まりを解決し早急に債務上限を引き上げるべきである。更に、連邦準備制度理事会は、成長、インフレ、金融状況の見通しを考慮しながら、金融政策の正常化プロセスを慎重に管理すべきである。日本と米国の両国は、中期的な財政調整および社会のセーフティー・ネットの改革を遂行する必要がある。また、日本とユーロ圏諸国は、潜在GDPを増やすための構造改革を採用すべきである。

適切なポリシーミックスと調整ペースは、新興市場国・地域によって異なる。ただし、多くの国では、政策上の最優先事項を共有している。政策担当者は、為替相場を環境の変化に対応させショックを吸収させる一方で、無秩序な市況を回避すべきである。金融政策の枠組みの信頼性が不十分な国や地域では、強固な名目アンカーを提供することを一段と重視すべきかもしれない。金融の安定性を保護するために、金融規制とプルーデントな措置を講じるべきであろう。下振れリスクが実現する恐れがなく資金調達環境が財政の緩和を許さないようであれば、財政調整を継続しバッファの再構築に努める必要がある。

多くの新興市場国・地域では、インフラへの投資と潜在成長力の活性化を含めた新たな構造改革が不可欠である。中国は、よりバランスのとれた持続可能な国内成長

及び世界成長への道を拓くために、投資から消費に軸足を移して成長の再バランスを図る必要がある。

**関連リンク：**

[WEO を読む](#)

[世界経済見通し全文](#)

[ビデオ：ブランシャール](#)

[ラガルドの新グローバルアジェンダ](#)

[ラガルド：スピーチを読む](#)

[同期：世界経済](#)

[国際的な資金フロー](#)